トップニュース

石川、高岡など甚大な被害

令和6年能登半島地震

元日の午後4時10分に発生した「令和6年能登半島地震」。最大震度7を観測し、震源地の石川・能登地方を中心に大きな被害をもたらしている。宗門内でも、石川、高岡教区などの寺院や門信徒に甚大な被害が発生している。

（2、3面に続く）

本山・社会部〈災害対策担当〉は、地震発生直後から震源地の石川教区などに被災状況の報告を依頼。被害を受けた各教区教務所からの報告が続いている。石川教区では、本堂、庫裏や山門、鐘楼などの全壊や半壊、傾斜などのほか、津波で床上浸水の被害を受けた寺院もある。門徒にも多数の被害が及んでいる。

このほか、長野、国府、新潟、富山、高岡、福井、岐阜教区でも、本堂や庫裏などの傾斜、屋根瓦落下、内壁、外壁の剥落、内陣の本尊や仏具の落下による破損、墓石や灯籠の倒壊などの被害の報告が寄せられている。

被害は1月14日現在、8教区377カ寺に及ぶ。

本山では、現地の情報を元に4日から復旧支援隊を被災地に派遣し始めた。現地の教務所職員と連携し、被災寺院を見舞いながら必要な支援を聞き取り、食料や水、カイロ、生理用品、おむつ、カセットコンロ、発電機などを届ける活動を続けている。また、7日には、本山に令和6年能登半島地震緊急災害対策本部（中央本部）、石川教区教務所に現地緊急災害対策本部（現地本部）を設け、継続的な支援活動に入った。

5日からは、たすけあい運動募金による「令和6年能登半島地震災害義援金」の募集を開始した。

また、石川、高岡両教区に50万円、国府、新潟、富山の各教区に20万の見舞金を交付した。

庫裏・式台が全壊するなどの被害を受けた石川県七尾市の光顕寺

金沢別院に支援センター

支援物資情報やボランティアの宿泊

浄土真宗本願寺派能登半島地震支援センターが1月8日、金沢市笠市町2―47の金沢別院に設置された。被災寺院や門信徒からの支援要請を受け付け、ボランティア希望者に情報提供や宿泊場所の提供などを行い、継続的な被災地支援を進めていく。主な活動内容は次の通り。

【ボランティア活動に関する情報の収集と提供】①被災寺院・門信徒からの支援要請（人的・物的）の収集と提供②現地ボランティアセンターへの活動支援・情報交換③現地ボランティアセンターの受け入れ等の情報提供④交通手段・移動方法等の情報の収集と提供。

【宿泊場所の提供】同別院宿泊スペース（書院）を提供※相部屋。風呂・食事なし。周辺に銭湯あり。駐車場は若干数。

このほか、支援物資の要望と受け入れの連絡調整、ボランティア活動参加者への支援など。

必要とされる最新の支援物資などの情報は、金沢別院ホームページhttps://www.incl.ne.jp/honganji/、もしくはX（旧ツイッター）、インスタグラムから見ることができる（下にQRコード）。

問い合わせは同センター☎090（2565）5325または090（2163）5332。

インスタ　X　ホームページ

災害義援金受付始める

宗派は、能登半島地震の被災地の1日も早い復興を願い、災害義援金の募集を1月5日から始めた。詳細は下記。

令和6年能登半島地震　災害義援金

【募金の名称】
浄土真宗本願寺派　たすけあい運動募金
「令和6年能登半島地震　災害義援金」

【受付口座番号】
郵便振替　01000―4―69957
加入者名　たすけあい募金

銀行振込
銀行　ゆうちょ銀行
店名　一〇九（イチゼロキュウ）店
番号　当座　0069957
名義　たすけあい募金

※通信欄に「能登地震」とご記入ください。住所、連絡先、領収書名のご記入をお願いします。
※インターネットバンキングで振込の方には、入金者情報、住所、連絡先、領収書名義等について下記メールアドレスにご連絡をお願いいたします。

【受付期間】
2024（令和6）年1月5日から当分の間

【問い合わせ先】
〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町
浄土真宗本願寺派伝道本部
社会部＜災害対策担当＞
TEL 075-371-5181　FAX 075-365-6199
saigai-taisaku@hongwanji.or.jp

令和6年能登半島地震に関する総長談話

令和6年能登半島地震により被災された皆様に衷心よりお見舞い申しあげます。

このたびの地震によりお亡くなりになられた皆様、さらにはご遺族の皆様へ、心から哀悼の意を表します。また、余震が続く中、避難生活を余儀なくされている方、不安の中におられる方の心情をお察し申しあげますとともに、一刻も早く平穏な日々をお過ごしになれますよう願っております。

宗門では、地震発生直後から北陸地方及びその近隣地域被害状況の把握に努め、1月4日以降復旧支援隊を随時派遣して京都から支援物資の運搬を行い、併せて「たすけあい運動募金」において災害義援金の受付を開始いたしました。さらに、1月7日には「令和6年能登半島地震緊急災害対策本部」を中央に設置するとともに、石川教区教務所に「現地緊急災害対策本部」を設置し、物心両面にわたる支援をいたしております。

この冬の寒さ厳しき折、ライフラインが絶たれ孤立した地区も未だ残る中、先行きの見えない不安を抱えながらの生活は、想像を超えた厳しいものであることと存じます。道路やライフラインの復旧、避難所等においてご尽力されておられる方々に深く敬意を表しますとともに、皆様の安全と一日も早い復興を願い、宗門として引き続き全力で支援してまいります。

2024（令和6）年1月8日
浄土真宗本願寺派
総長　池田行信

本願寺新報
hongwanji journal
1月20日（土曜日）
毎月1日・10日・20日発行
発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派（西本願寺）本願寺出版社内
〒600-8501
電話 075(371)4171(代) ／ FAX075(341)7753

創業1400有余年の寺社建築技術
剛 金剛組
https://www.kongogumi.co.jp/
フリーダイヤル 0120-054-731

新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）

南無阿弥陀仏
「われにまかせよ　そのまま救う」の　弥陀のよび声
私の煩悩と仏のさとりは　本来一つゆえ
「そのまま救う」が　弥陀のよび声
ありがとう　といただいて
この愚身をまかす　このままで
救い取られる　自然の浄土
仏恩報謝の　お念仏

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法灯を伝承された　歴代宗主の
尊いお導きに　よるものです

み教えを依りどころに生きる者　となり
少しずつ　執われの心を　離れます
生かされていることに　感謝して
むさぼり　いかりに　流されず
穏やかな顔と　優しい言葉
喜びも　悲しみも　分かち合い
日々に　精一杯　つとめます

赤光白光

「臨床宗教師」という言葉をご存じだろうか。被災地や医療機関、福祉施設などの公共空間で、心のケアを提供する宗教者のことをいう。

▼2011年の東日本大震災を機に、在宅緩和ケア医である岡部健さんを中心に、宗教者や医療者、学術関係者らが集い、被災地支援と宗教者による公共空間での心のケアを目的に、東北大学に寄付講座を設置し、養成が始まった。その裾野は徐々に広がりをみせ、養成講座は宗門校の龍谷大学、武蔵野大学をはじめ、仏教やキリスト教系などの大学機関で開かれている。布教や伝道を目的とするのではなく、高度な倫理に支えられ、相手の価値観を尊重しながら、宗教者としての経験を生かして、苦悩や悲嘆を抱える人々に寄り添っていくことを学んでいる。

▼「臨床宗教師」が生まれた大きな要因の一つは、大震災に遭った人々の「なぜ私がこんな目に遭わなければならないのか」「私の人生は何だったのか」「死ぬのが怖い」などの悲嘆の声だった。同時に、大切な人を失った人たちが宗教の儀式などを求める声の多さだったという。それらの声に寄り添う宗教者の必要性を強く感じ、「臨床宗教師」が誕生した。

▼令和6年の元日に起きた能登半島地震。正月で集まっていた家族や親族を突然に亡くした人の「なんで私がこんなことにならなきゃいけないのか」という悲痛な声がテレビのニュースで響いた。ボランティアとともに、今後さらに必要になってくるのが心のケア。東日本大震災からの積み重ねを今こそ。

法藏館
http://www.hozokan.co.jp
宮沢賢治の仏教思想 ―信仰・理想・家族― 牧野 静[著] 三、三〇〇円
一連の作品群から賢治の仏教思想とそのパックボーンを解明するとともに、近代の中で悩み続ける「人間・宮沢賢治」の本質を抉り出す。
唯識 ―これだけは知りたい― 加藤朝胤[監修]・船山 徹・石垣明貴杞[著] 一、六五〇円
「これだけは知っておきたい」と思う唯識の「歴史・思想の基本を凝縮。挿画に現代を代表する美術工芸家が寄せた作品多数をカラー掲載。
法藏館文庫
法然とその時代 田村圓澄[著]・坪井 剛[解説] 一、三一〇円
否定を媒介とする法然の廻心を基軸に、人間の魂の遍歴を普遍化することで、歴史研究の成果を「人間」理解一般にまで昇華させた労作。
寺檀の思想 大桑 斉[著]・松金直美[解説] 一、三一〇円
近世に生まれた「寺檀」の関係を近代以降にまで存続せしめたものは何だったのか。家を基本構造とする幕藩制下の仏教思想を解明。
〈季刊誌〉ひとりふたり・春彼岸を迎える 三〇部以上、一部一一〇円
〈季刊誌〉施本に最適！ 一三六円
〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入ル　TEL 075-343-0458　FAX 075-371-0458
表示価格は全て税込　新刊メール配信中！　お買上16,500円(税込)以上送料無料

好評
最新刊
親鸞伝と本願寺俯瞰 ―東西本願寺のちがい― 鎌田宗雲著 定価2750円(税込)
第一章では親鸞の実像や恵信尼について、第二章では東西本願寺の歴史と仏具や作法の違いについて、第三章では本願寺の不思議や門徒の意味、御文章や領解文の基礎を解説する。
親鸞仏教の基礎研究 川添泰信著 定価13200円(税込)
本書は、浄土仏教の問題、親鸞仏教の問題、真宗伝道の問題、真宗聖教の書誌および概説の四部構成。主に法然浄土教、親鸞浄土教における生死の問題、真宗伝道論の研究、三帖和讃と教行信証、『破邪顕正抄』の書誌などについて考察する。
生誕一六〇年新装版 清沢満之先生のことば 大河内了悟・佐々木蓮麿 共著 定価1100円(税込)
名倉幹 校訂
一九六三年に清沢満之先生の生誕百年を記念して出版されたものを、若干用語の是正を行い、また旧字体を新字体に改めて、新装版として出版したもの。清沢先生が命懸けで求道された内容を集約した人生のハンドブック。
永田文昌堂 600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

探究社 https://www.tankyusha.co.jp
浄土真宗の葬儀儀礼を分かり易く！
●大好評！ 知っておきたい浄土真宗 葬儀とお仏壇について 165円
世間の風習や俗信、迷信に振り回されることなく、浄土真宗の正しい葬儀を行いたいとの願いから作成。
福岡教区福岡組基幹運動推進委員会 編
役立つ情報満載！
どれだけ知ってますか？ ●オールカラー 浄土真宗マナーQ&A
編集：福岡教区福岡組基幹運動推進委員会 400円
風習や俗信、そして迷信に振り回されることのない―
「仏事に関するこういった場合どうしたら良いのか」等の相談を葬儀中心に整理した。作法・臨終・通夜・葬儀の理解を深める書。
四六判／六〇頁
〒520-0027 大津市錦織2丁目9-30-101
TEL 077(599)4201　FAX 077(599)4220【表示価格は税込】

『絵解き台本集』新装版DVD付
「絵解き」の世界……林 雅彦
「お釈迦さま涅槃図」絵解き……岡澤恭子
「熊野観心十界曼荼羅」絵解き……山本殖生
「かるかや堂往生寺」絵解き……水野恒子
「苅萱道心と石童丸」絵解き……竹澤繁子
「枕石山願法寺略縁起絵伝」絵解き……日野多慶子
「善光寺如来絵伝」絵解き……林 麻子
縁起堂洞之坊「善光寺如来絵伝」絵解き……若麻績侑孝
林雅彦・他著 B5判 124頁 DVD2枚組 収録2時間半 第3回絵解きフェスティバル 2014年9月6日 善光寺大本願(長野市)にて収録 定価3,850円(税込)
絵解きシリーズ① DVD『釈迦涅槃図』
お釈迦様入滅の模様を描いた「釈迦涅槃図」をもとに涅槃会の歴史、お釈迦様の生涯、入滅時にとりまく人々・動物にかかわる話を解いていく。
口演…小林玲子 DVD1枚 収録35分 定価7,124円(税込)
萬徳寺蔵の「二河白道図」三幅のその教えについて詳しく絵解きする。『二河白道』
口演…沓名奈都子 浄土真宗本願寺派布教使 DVD1枚 収録1時間30分 定価5,500円(税込)
方丈堂出版 https://hojodo.jp/ フリーダイヤル 0120-557-750 京都市伏見区日野不動講町38-25